

平成 26 年 12 月

調布市長 長友貴樹 様

調布警察署長 木内雅彦 様

【地域内における安全確保および防災の視点からの要望書】

昨年度（平成 25 年）提出しました地域改善要望書ですが、速やかに
対応していただいたところも多くあり、大変感謝しております。

さて、今年度も当地区協と布田小学校 P T A の有志の方々との協同
で、地域改善要望書平成 26 年度版を作成しましたのでご対応のほど
のご検討をよろしくお願い申し上げます。

布田小地区ハッピータウン協議会 会長 依田 耕児

布田小 P T A 会長 雪本 修一

2014年の改善要望箇所



D-⑤
- (1)



【現状】

昨年（2013年）の改善要望箇所と同じ場所ですが、写真D⑤(1)東方面から羽毛下路側帯を歩いてきた歩行者が、交差点を渡ってその先のガードレール内に入りずらく安全に歩きにくい。

【要望】

(イ) 写真D⑤(2)

ガードレール間のすき間を大きくとってください。

(ロ) 写真D⑤(2)

カーブミラーの曲がり度で歩行がしにくいので、修正してください。

D-⑤
- (2)



(ハ) 写真D⑥(1)

南側から下ってきた歩行者がガードレール内の歩道用エリアに入れるような導線あるいはガードレールの改善をしてください。

D-⑥
- (1)



(ホ) 写真D⑥(2)

南方面から降りてくる自転車がスピードが出やすく、東西の羽毛下を通る歩行者が大変危険なので、路面にスピード落とせの表示をお願いします。（あるいはミラーの支柱に注意看板を設置）

D-⑥
- (2)



L-①
-(1)



L-①
-(2)



L-①
-(3)



L-②
-(1)



【現状】

通学路にもなっているこの羽毛下の通りL①(1)は、昨今の布田六丁目と周辺染地一丁目周辺の宅地開発により、児童を含む歩行者と通行車両が増加しています。前頁の改善要望箇所D⑤(1)から始まるガードレールは、従来の田畑への転落防止のためのものであり、側溝の蓋には隙間が多数あり、大変歩きにくいのであまり周辺住民は利用しません。

また、その先の白山通りにつながる道L①(2)は、大人でもどう歩いたらいいかが理解が困難ですL①(3)。そのため児童は道幅全体に広がって通行する傾向があり大変危険です。

【要望】

(ニ) 歩道の切れている所から路側帯を設置してほしい。

(ホ) 歩行者が白山通りまで一貫して左側を通行できるように途中で切れてしまっている路側帯を延長して設置してください。

(ハ) あるいは、L②(1)の通行不可になっている歩道を整備し、写真L①(2)の中央右側から突然始まるガードレールまでを、歩道として利用できるようにしてください。

その際に、写真L①(2)歩道終了端から反対側への横断歩道を設置し、歩行者が安全に通行ができるようにしてください。

M- あ



【現状】

同じく羽下通り全般の通りは歩道もなく道路の真ん中を歩くことが多く、また車の見通しも悪いため危険である。

【要望】

写真の通り最低3カ所に「文」の通学路マークを電柱等に設置してほしい。

M- い



M- う

